

サステナビリティ(持続可能性)・成長性の確保【CGC 原則3-1 (i)】

近年、持続可能な開発目標(SDGs※)やパリ協定をはじめとして、世界的な課題解決に向けた企業の役割が重視されるようになってきました。当社でも、こうした社会の要請にお応えし、企業としての責任を果たしていくために、自社のみならず広くサプライチェーン全体を視野に入れ、ステークホルダーと連携したグローバルなESGの取り組みを推進していきます。

Environment (環境)

気候変動や資源の枯渇などの問題に対して、商品や原材料、エネルギーを無駄なく利用するとともに、お客様やお取引先にもご協力いただきながらサプライチェーン全体で環境負荷低減に取り組んでいます。

Governance (ガバナンス)

社是に基づき、透明性の高い経営が確保され、法令・社会規範が遵守される仕組みづくりに努めています。誠実なガバナンスを起点とし、環境・社会のさまざまな課題に対して「企業としての責任」を果たし、さらに「事業を通じた社会課題の解決」に取り組むことで、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会の実現を目指します。

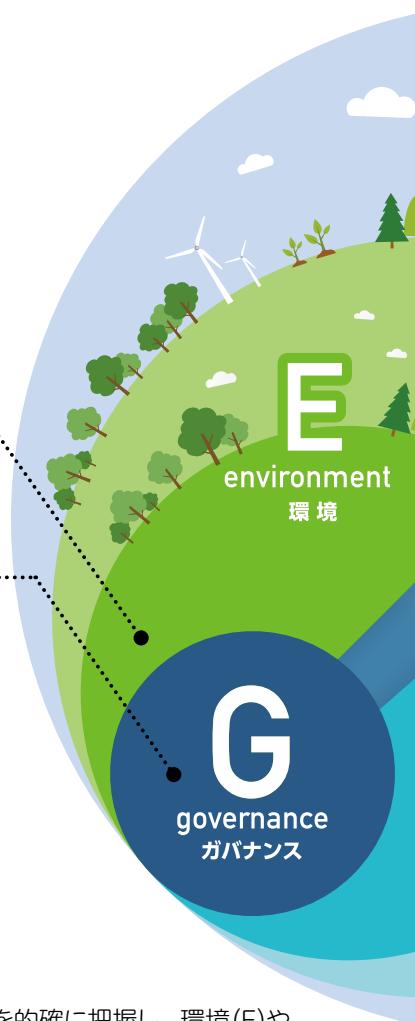
基本的な考え方とサステナビリティを支えるガバナンスの仕組み

当社は、当社社是「すべてのステークホルダーの皆様から信頼される誠実な企業」であることこそ、コーポレートガバナンスの「根幹」とであると同時に、会社のサステナビリティ(持続可能性)・成長性を確保することができる「基盤」と考えています。

透明性が高く、法令・社会規範を遵守する「誠実」なガバナンス体制により、ステークホルダーの皆様との対話

を通じて、社会の期待や要請を的確に把握し、環境(E)や社会(S)などの諸課題における、社会的な負の影響を低減しつつ、事業を通じた社会課題の解決に貢献する取り組みを真摯に実行することが、ステークホルダーの皆様からの末永い「信頼」となり、「社会の持続的な発展」と「企業の持続的成長」に結実すると考えます。

現在、このような取り組みを支えるガバナンスの仕組



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

「持続可能な開発目標(SDGs)」は2015年9月の国連サミットで採択された国際目標です。2030年までに貧困撲滅や格差の是正、気候変動対策など国際社会に共通する17の目標と169のターゲットの達成を目指しています。



みとして、企業行動指針をはじめとした各種方針を定め、グループ横断組織「CSR統括委員会」とその傘下に企業行動部会、消費者・公正取引部会、環境部会、社会価値創造部会を設置し、サステナビリティを巡る外部環境・情勢を的確に把握し、持続可能性・成長性を確保する諸政策を適切に実行できる体制を構築しており、当社取締役会が客観的観点からモニタリングを行っています。

【参考情報】CSRマネジメントについてはCSRWEBサイトをご参照ください
<https://www.7andi.com/csr/organization/committee.html>

これからも、当社グループは、社会と企業の持続可能な発展のために、社会の一員としての責任を果たすとともに、ステークホルダーとの対話を通じて、社会の期待や要請にグループが一体となって応えていくことで「社会価値と企業価値の両立」を目指してまいります。

social
社会 S

Social (社会)

世界的な貧困、人権問題、国内における人口減少、少子高齢化、小売店舗・社会的拠点の減少などの問題に対して、社会の一員として商品や店舗などの事業を通じて、課題解決に取り組んでいます。

サステナビリティに関わる重点課題(マテリアリティ)の特定

当社は、事業領域が拡大し、関係する社会課題や社会要請が多様化する中、サステナビリティを巡る課題を確認し、ステークホルダーの皆様の期待や要請にグループ丸となってお応えするため、ステークホルダーの方々との対話を通じて当社グループが取り組むべき「5つの重点課題(マテリアリティ)」を特定しました。重点課題は、時代・社会の変化、ステークホルダーからの要請の変化にあわせて適宜見直しを行います。

各重点課題に対しては、当社が与える負の影響を低減する取り組みを推進する一方で、商品やサービス、店

舗など本業を通じてこれらの課題を解決するCSV※の取り組みを進めています。

2015年に、2030年までの国際社会共通の目標として国連で採択されたSDGsの達成に事業を通じて貢献していくために、それぞれの目標と5つの重点課題の関連性を整理して、当社のサステナビリティの取り組みに組み込みました。

※Creating Shared Value:
社会的価値と経済的価値の双方を生み出す共通価値の創造

重点課題特定プロセス



サステナビリティを巡るリスク・機会

環境・社会に関わるさまざまな課題は、企業のサステナビリティを脅かすリスクとなる一方、社会課題の解決に取り組むことは、新しいビジネスチャンスにつながります。当社では、5つの重点課題に関わるリスクとチャ

ンスを把握し、リスクの低減に努めるとともに、社会課題を解決する新たなビジネスモデルの創出を通じて、持続可能な社会と企業の持続的成長を目指しています。

「重点課題(マテリアリティ)」と主なリスク・機会(例)

重点課題1 高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

リスク

高齢化に伴うニーズの変化への対応が遅れた場合の来店動機の低下 など

機会

高齢化に対応した商品やネットをはじめとした便利なお買物環境・サービスの創出による販売機会の拡大 など

リスク低減と機会の創出の仕組み

- ①方針：企業行動指針
- ②組織：CSR統括委員会および傘下の社会価値創造部会、デジタル戦略部

重点課題2 商品や店舗を通じた安全・安心の提供

リスク

商品事故・店頭事故の発生や法令違反による信用の低下 など

機会

徹底した安全・品質管理や健康配慮商品などお客様ニーズに即した新しい商品提供による販売機会の拡大 など

リスク低減と機会の創出の仕組み

- ①方針：企業行動指針、品質方針
- ②組織：CSR統括委員会およびグループQCプロジェクト

重点課題3 商品、原材料、エネルギーのムダのない利用

リスク

気候変動に伴う店舗・物流網への物理的損害 など

機会

省エネや廃棄物削減、リサイクル、エネルギー供給源の見直しによるコスト削減 など

リスク低減と機会の創出の仕組み

- ①方針：企業行動指針、『GREEN CHALLENGE 2050』など
- ②組織：CSR統括委員会および傘下の環境部会

重点課題4 社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援

リスク

労働力人口の減少による人材不足・人件費の高騰 など

機会

ダイバーシティ経営推進による競争力の強化・新規事業の開発と優秀な人材の獲得 など

リスク低減と機会の創出の仕組み

- ①方針：企業行動指針
- ②組織：CSR統括委員会および傘下の企業行動部会、ダイバーシティ&インクルージョン推進プロジェクト

重点課題5 お客様、お取引先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上

リスク

サプライチェーン上の人権問題の発生による商品供給の停止や品質の劣化・社会的評価の低下 など

機会

持続可能な原材料調達による競争力の拡大・エシカル消費に対応した商品・サービス提供による販売機会の拡大 など

リスク低減と機会の創出の仕組み

- ①方針：企業行動指針・お取引先行動指針・持続可能な調達基本方針
- ②組織：CSR統括委員会および傘下の消費者・公正取引部会、環境部会